

■ 指定管理者制度導入施設 年度評価シート ■

評価年度	令和7年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	L C A国際小学校北の丘センター（相模原市立北市民健康文化センター）
指定管理者名	北市民健康文化センター運営共同事業体 （公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社フクシ・エンタープライズ）
指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため （相模原市立市民健康文化センター条例第2条）
施設概要	所在地 緑区下九沢2071-1 ・敷地面積 9,072.88㎡ ・建築面積 4,454㎡ ・延床面積 9,069㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨（地下1階 地上3階） 1階 プール、展示コーナー、トレーニングルーム 2階 障害者プール、娯楽室、談話室、多目的会議室、講習室 3階 浴室 大広間
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計（人）	213,871	240,464	237,548	237,376			
利用料金合計（円）	53,108,095	58,570,405	52,190,450	49,931,073			

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	2指標の平均達成度は目標値の104.1%となるため、A評価とする。 【指標1：プールの利用人数】 令和6年度の実績から微減し、成果指標の目標値が未達成となった。このことについては、主な要因として以下の2点が挙げられる。 1点目は令和7年度に再度検出されたレジオネラ属菌について直接的な発生原因の特定に至らなかったため、令和7年7月29日～令和10年3月までジャグジープールが利用休止になってしまったことである。利用者が暖を取る設備として重宝されていたジャグジープールだったため、今回の利用休止が利用者の減少に繋がったと考えられる。市内小中学校の夏期休暇期間においては、指定管理者が特に冷房のメンテナンスに留意していたため大きな故障もなく、プール縁日やボールプールの開催等をした結果、8月の利用者数が令和6年度対比2,000人超の増加となったが、その他期間においてはプール利用者が減少した。 2点目は流水プール漏水に伴うプール施設休止期間の発生である。令和7年度に流水プール槽で大量の漏水が発生したため、プール施設を8日間休止して修繕を実施したことが利用者が減少に繋がった。 【指標2：自主事業の参加人数】 前年度と比較して、参加者が約13.2%増加し直近3年間では最高値となった。水泳教室やトレーニングルームの運営を中心に大きく参加者を伸ばしたほか、北の丘フェスタといった集客イベントの来場者数の増加が大きな要因となった。

指標1	
指標名（単位）	プールの利用人数（人）
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターでプールは中心施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進が達成されるため、成果指標とする。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（単位）	211,000	213,000	168,000	168,000			
実績値（単位）	132,980	149,285	145,448	141,411			
達成度（%）	63.0%	70.1%	86.6%	84.2%			

指標2	
指標名（単位）	自主事業の参加人数（人）
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターの諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（単位）	32,000	32,000	32,000	32,000			
実績値（単位）	26,166	35,448	35,448	39,674			
達成度（%）	81.8%	110.8%	110.8%	124.0%			

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	【「健康保持・増進」を推進する事業】⇒○ 水泳教室のチャレンジ上級や大人の水泳初級では予定参加数を大幅に上回る参加者がおり、利用者のニーズにあった事業を実施していたと評価できる。また、遊ぶ中で水への恐怖心を克服することを目的とした「おみずであそぼう！」を新たに実施することで、年齢だけでなく泳力レベルの側面からも幅広く水に親しめるような事業を展開したことが達成の要因と考えられる。また、「ビニールプールの貸出」や北の丘フェスタにおいて実施していたボールプールを定期開催するなど、自主事業の参加人数だけでなく、プールの利用者数の実績にも影響を与えたと考えている。引き続き利用者の新規獲得と定着、収入の確保などを目指し、事業の充実を図ってほしい。 【「文化の振興・福祉の充実」を推進する事業】⇒○ 前年度と同様に大盛況だった、初めての陶芸教室や写経・写仏コースに加え、優しい遺言書の作り方教室も大幅に参加者が増えている。教室参加費用の支払いに電子マネーを追加して利便性の向上を図ったことも増加の要因と考えられ、令和6年度より運用開始したPayPayはリピーターの多い「寄せ植え教室」などの特に主婦層で好評となっている。引き続き利用者の新規獲得と定着、収入の確保などを目指し、トライアンドエラーを行いながら事業の充実を図ってほしい。 【「地域のふれあい・魅力づくりへの貢献」を推進する事業】⇒◎ 代表的な集客イベントである「北の丘フェスタ」では、体操教室無料体験やプールで水上アスレチックなど施設内で大人も子供も楽しめる様々な催し物を実施するなど、施設の魅力づくりに努めている。また、沢山の人が集まるという施設の特色をいかし、地域サークルの発表・展示もしたことも来場者が増えた要因と思われる。さらなる施設の活性化に向けて取組を継続してもらいたい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
「健康保持・増進」を推進する事業	通年	プール教室や体操教室等の事業（48事業）	○
「文化の振興・福祉の充実」を推進する事業	通年	「寄せ植え教室」や「絵手紙教室」等の事業（10事業）	○
「地域のふれあい・魅力づくりへの貢献」を推進する事業	通年	近隣施設と連携したスタンプラリーや展示コーナーを活用した地域サークルの発表・展示等の事業（11事業）	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	本年度は目標値を下回ったが、前年度の85.9%を1.8ポイント上回った。 例年以上に施設老朽化に対する意見が増加傾向で、費用や構造的な問題から修繕の実施に至っていない自動水栓や地下トイレなど不具合箇所への意見や大人や高齢者の利用料金に対する不満の意見もあったが、これらの意見については指定管理者のみの対応が難しいと認識している。しかし、工作関係の事業を実施してほしいとの要望には、ダンボールを使った工作教室を小中学校夏休みの期間で定期的の実施し、自身ですぐに改善できることには直ちに組み込んでおり、その積極的な姿勢は評価ができる。 引き続き、ニーズの把握に努め、調査結果を踏まえて新規事業を展開するなど、今後のより良い施設運営に期待したい。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査（604件）（令和7年7月～8月）
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0			
実績値（%）	91.3	91.4	85.9	87.7			
達成度（%）	101.4	101.6	95.4	97.4			

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	文化事業開催時	参加教室に関してのアンケートを実施（文化教室のみ）。教室終了時に回収。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	本体事業収支及び全体収支が赤字であり、指定管理者の団体本体の経営状況については若干の懸念があるため、C評価とする。赤字の要因として、人件費や原油価格・物価高騰等による光熱水費の大幅な増加、長期に渡って発生した漏水、緊急修繕のためのプール施設の休止による来場者の減少によるもので、指定管理者の責めによらないものとする。

施設の収支概要

※直近3年間について記載

（千円）

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入（a）	201,076	275,236	274,833
指定管理料	144,982	194,996	198,210
利用料金収入	47,237	52,191	49,931
その他の収入	8,857	28,049	26,692
支出（b）	239,487	292,664	292,778
人件費	107,027	127,361	127,551
本社管理経費	8,609	5,048	5,042
その他の支出	123,851	160,255	160,185
本体事業収支【(a)-(b)】(c)	-38,411	-17,428	-17,945
自主事業収入（d）	26,787	26,268	26,153
自主事業支出（e）	5,840	12,486	14,662
自主事業収支【(d)-(e)】(f)	20,947	13,782	11,491
全体収支【(c)+(f)】	-17,464	-3,646	-6,454
備考			

団体の財務状況

団体本体の経営状況について若干の懸念がある。

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和8年2月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	×
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

プール利用者数は令和6年度実績から微減となった。これは、ジャグジープールの水質悪化に伴う利用休止と、流水プール漏水に伴うプール施設休止期間の発生が主な要因である。近年、当該施設の状況としては、設備の老朽化により適切な運営や予算執行が困難であるため、引き続き、利用者への影響を最小限に抑えるよう、日頃から、施設・設備の予防保全に対する意識を高めるなど、適切な施設の管理運営に努めたい。

一方、自主事業の参加人数については、目標値を達成した令和6年度を更に上回る実績となった。年齢だけでなく、泳力レベルの側面から検討した水泳事業の実施や、各年代に向けて実施した文化事業など、多くの方々に参加していただけた。

引き続き、自主事業を積極的に実施し、施設の認知度向上を図ることで、諸室利用や自主事業の参加者数の増加へ繋げたい。

10 所管課意見

成果指標である「プールの利用人数」について、子ども料金無料化による利用者増加の期待もあったが、施設の不具合等の影響もあり目標値に届かなかった。更なる周知や閑散期のプール利用促進等をおこなうことで年間を通して利用される施設とし、利用者の増加がはかれる必要がある。

成果指標である「自主事業の参加人数」が昨年度実績及び目標値を上回っている。とりわけプール等を中心とした健康保持・増進を目的とした事業や北の丘フェスタやクリスマスイベントなど、施設の特性や季節柄などを反映したイベントを開催するなど、多様な世代をターゲットに魅力的な事業が多数実施されており高く評価できる。

開所から25年が経過し施設の老朽化が進行する中で、難しい維持管理となっているが施設を休館することなく維持できている。一方で空調設備の不具合やレジオネラ属菌の発生等により一部施設運営に影響が出ているため、今後必要や緊急性等を加味したうえで、予算の範囲内で最大限の効果が出るよう、修繕をはじめとした施設管理を実施するとともに、市と緊密に連携を取り維持管理をお願いしたい。

11 選考委員会意見

施設が老朽化する中、積極的に自主事業に取り組み、利用者ニーズを踏まえた事業を展開し、利用者の増加に繋がったことを評価する。また、リサイクル事業の実施など、民間事業との連携も評価する。

引き続き、利用者ニーズや社会情勢を踏まえ、利用者増加に向けた取組を積極的に進めていただきたい。

また、必要に応じ、施設の休所なども含め、安全安心を優先した運営に努めていただきたい。

総合評価（自動判定）

B

(60/100)

